夕刊
磐城新聞
十二月九日發行
定價 一ケ月 金六拾五錢
發行所 磐城新聞社 合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八・五五六五番

天氣豫報 小名濱側候所觀測
今晩 北の風晴たり曇
明日 同

禪を語る〔四〕

清泉生

同じ木から出來てゐる家の仕組が、それぞれの形を異にしてそれぞれの位置を占めてゐる上からは、互に獨自各別の存在であるが、柱となつては竪に支へる用をなし、敷居となつては繼たはつて戸障子開閉の用を爲し、貼は下に天井は上に鴨居は鴨居の用をなし、棟木は棟木の用を爲し、各自獨立の形のまゝに、各別各異の用きのまゝに、相倚り相扶けて一軒の家を構成してゐる如く、大自然の理法も、各異獨立の位置と形とを保ちながら、そしてそれぞれ別々な用らきを爲しながら、互ひに扶け合ひ、倚り合ひしてゐるものである。遊星恒星諸星は互ひの吸引力によつて、互ひの位置を保ち、天は覆ひ地は載せ、太陽は光と熱とを萬物に施し、寒來暑往四季運行し、雨露水土の潤あつて生成化育行はれ、動物に於ける酸素、植物に於る炭酸、交々呼吸の氣を以て相扶け一木一草の微に至るまで、みな知らず識らずの裡に相依り相惠みつゝ存立してゐるものである。これを萬物相關の理と名づけまた萬物諧和の德とも謂ふのである萬法歸一、總ての差別を泯融して一絶對に歸せしむるは、まさに宇宙の妙體である。萬象獨立、天眞にして流雪し、整然として一絲亂れざるは宇宙の妙相である。萬物相關諧和して融通無礙なるは宇宙の大度大能である。體相用三理一枚となつて同々不同、別々不別現象のまゝ即ち眞如の理象となつて無限の過去より無限の未來を究め、上下四方、邊際を盡して萬古不易の法則を運轉する大宇宙大自然は、その靈智妙德、妙用まさに筆舌、絶した偉大なものと驚嘆し嘆美するより他にない。

無一物中無盡藏

しかしながら、重ねていふ、吾人も亦一箇の小宇宙として五尺の身を五十年の生涯に寄せて偉大なる妙體に參交するものである。即ちわれ〳〵の一身は直ちに絶大なる宇宙本體と脈絡契通するもののあるを知らねばならない。われ〳〵の知情意は直に靈妙なるうちら自然の靈智妙德を長け得たる或るものなることを覺らねばならない。大として盡きざるなく、微として究めざるなきうちらの妙體や靈智や妙德は如何なる時、如何なる處にも遍滿瀰淪せざるはない。

庭上秋晩

島田忠夫

○庭の上に朱極ると見たりける山櫨の葉よいくばくもなし
○白樺の黄葉はらゝぎ露霜のやうやく深きこの朝なさな
○うら枯れて黄に透りたる鳴子百合衰へにつつすがる蟲あり
○朱錆びし羊齒の叢むら伯耆なる三德の山を思ひ見らわれは
○萱草の枯れしが中に匂ひて咲く深山りんだうのいろ淡きかも

卽事

珠雲 小野務平

捲雨颱風吼夜闘
山崩家倒一淒酸
怒濤嚙岸覆船舶
愁殺港灣前路難

12月10日
△歌人蓮月尼歿す（明治八）△印刷局設置（明治一二）△ノーベル歿す（一、八九六）△海軍聯合航空隊令制定さる（昭和一三）

12月12日
△平將門下野を陷る（天慶三）△澤庵禪師寂す（正保二）△コッホ生る（一、八四三）△メーメル議會選擧でドイツ復歸派大勝（昭和一三）

その日〳〵

枯蘆や鳴かぬ千鳥の門を走る　芋月

講談 振袖横町（ふりそでよこちやう）

(94) 須藤鐘一　荻原萬象畫

當時の事件（十）

斯うしてゐる時、玆に御老中大久保加賀守より子息隱岐守の嫁に、と柳澤の許に縁組を申し込んで來た。

美濃守は早速得心してその申込みを受入れんとした時に、家老曾根權太夫、藤田五郎左衞門、用人池上源右衞門、瀧口平太夫等が、

「大久保家は御老中の古老にて唯今は權威はござりますれど、祿高は十一萬三千石ではござりませぬか？大久保家よりは御縁談を申し來りし細川越中守樣、藤堂大學頭樣、上杉彈正少弼樣など何れも國主の歷々を差置れ、大久保家などに御縁組の儀、殘念に存じ奉りまする……如何なる御所存でござりませうか？」

抗議的に申し出た。

柳澤はにつこりと打笑ひ聲を密めて

『皆の者が、心を勞して吳れるのは予も嬉しく思ふ……。然しながら予が大久保家と縁を結ばんとするは深い所存のあるところなのぢや。今、予は十二萬石を領し、老中御側用人を乘帶しておるとは云へ、今一段上の大老職に昇る事はなか〳〵出來ぬ。皆も知つての通り大老職は武家の極官、して公家の關白と同じである。

大老には御三家御家門といへども、猥に詞を返す事は出來ぬ、予が大老、ならんには先づ大久保は老中の古老なれば、彼に願はせ、其上御三家の內何れへか取入なば此職に登り得る……さうなれば井伊掃部頭にせよ御政道には手出しもなるまい。

――又二つには大久保家は相州小田原を領して、日本一の關所を預るのである箱根は江戶城の要害諸大名の通路なれば、何か事のあつた場合には一方の防ぎと相成ること〻思ふて縁組をするのである……」

と言つた。家來の面々も

「成程左樣でござりましたか」

と合點した。

そこでその婚姻は滯りなく取結ばれた。

又、柳澤は母方の親類にて五百石を領し、兩者を勤める中山藤兵衞の三男三九郎と言ふ者を吹擧して黑田三九郎と改名させて將軍家の御小姓に差し出したが、この者もなか〳〵如才がないので御氣に入り立身して黑田豐前守となり二萬石を領するやうになつたのを婿に取り、家門の繁昌肩を並ぶ者なしといふ有樣になつた。

一方には、御三家へ取入ることを忘れなかつた。

柳澤は、大久保加賀守の伜、長門守、出雲守とも召出させ種々田を着せ大久保家へ縁付し養女に言含め折節加賀守へ美濃守大老職仰せ付けらるる樣進めさせるやうに仕向けた。

加賀守も美濃守にへつらふ心があつたのにその上今は縁者となつてゐるので何時かは將軍家の御機嫌を見合せ執成さんと思つて居たので或時、柳澤美濃守忠勤拔群にして仁政を行ふ事擧げて算難し、美濃守に大老職を仰せつけられ、御政治を御任せに相成りますれば、いよ〳〵天下安全ならんと申し上げた。將軍家も素よりその心があつたので、扨は美濃守の取計ひ宜しければ、斯く申すのであらうと思召しになつたが、大老職は重き役議なれば御一存にも成り難く、御三家へ相談ある可しとの御意。

此の時尾張大納言は在國にて江戶には居なかつたので紀州水戶の兩家へ御相談に相成つたが、兩家へは兼て柳澤が取入つて居たので別に反對もしなかつた。依て格別の思召を以て三萬石の御加增の上大老職を仰せられた。

おでん たつた揚 やきとり
一平
電話二六三番

創始
室内用竹レール
高尚優美 無音低廉 防中防腐製品
國華竹レール
一番美レイ 一番打付ケヨイ 音セヌ
實用新案 第二一四二八八號 第一九三六四七號
京都府園部町 國華竹レール 第一工場
仝 綾部 仝第二工場
仝 宮津町 仝第三工場

東北六縣一手特約店
合資會社 平銅鐵機械商會
代表者 井尻七三郎
KS 國華竹レール部
一縣一市御特約店ヲ契約
一縣一町一村ニ小賣店特約店ヲ望ム
詳細ハ拙社御照會ニヨリ社員見本持參御相談ニ可應候

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
秤ノ取締 垂米・修繕致シマス。
關內藥局 電話四〇番

故障の起らぬ 原口のラヂオ
AKI
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

御婚禮御着附
パーマネント ウエーブ
洋和結髮 オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術
電話 六七八營業所 五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

病室・手術室完備
產科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
（物理療法科併置）
（入院隨時）
平市新川町（電話三六九番）

串おでん
芋鱈（イモボウ）
大阪名物
お多幸
暫らく休ませて戴きましたが季節になりましたので、又た始めましたから御贔屓を御願いたします。
田町末廣となり
お多幸

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
●時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月 隨時
卒業期間 四ケ月（高女卒程度） 十ケ月（小高卒程度）
●卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月 隨時
卒業期間 本科一ケ年 速成科六ケ月
文部大臣認可
平陽女學校
（平市 電話四四五番）

實株は買ッテ御手元へ
必ヅ儲カル優良株
●目下投資時代
投資指針
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話一九一

或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日四日も便通がなくて頭痛を覺ゆる御方はキキメの早い
靈効散 胃腸藥 を御試し下さい
胃腸病。心臟病。腦。痔。適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。
平市古鍛冶町縣社ノ下
漢方製調劑所 阿康藥局
電話四四番 振替口座東京三〇〇六〇番
定價 五十錢 八日分 壹圓 廿日分
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

旅舍 大春館
東京上野驛前（下谷郵便局通角）
電話下谷㈧六七七番
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

開業
內臟外科 整形外科
平市大町二番地
內木外科醫院
醫學博士 內木宗八
（入院隨時）

帝都演藝豪華名流出演
應召軍人慰問品基金造成演藝大會
浪花節 廣澤虎若
講談 神田伯龍
歌謠 丸山和歌子
天才小女浪曲橫綱 鈴木照子孃
小唄漫藝 叶家洋月 春木艶子
▼漫才界の人氣王朝日日出丸一黨
場所 平公會堂
期日 十二月十九日
會費 金八十錢
〔ヒル正午・夜五時〕
主催 磐城通信社
後援 平市役所 外各種團体
◇會員劵御用ノ方ハマルトモ書店、三井呉服店、磐城通信社ニアリ

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

大びらな集りは無い
銃後を忘れぬ地方人の心構へ
忘年會から観た今師走

師走第一期／は既にあす丈けで日曜あけから節季も愈よ中旬に入り、多彩なりし昭和十四年に最後の終末符を打つ日は事變下緊張の裡にも漸く迫つて來た。常の年なら氣早やな忘年會の幾つかゞ歳末狂騒曲の調子を昂めるのであるが、近惑と闘ふ前線を偲ぶ愼しみもある處へ、目下の經濟戰强調週間と、その方面の大宗をなす各炭礦側などが例の會社職員給與臨時措置令の支配を受くる自粛から勢ひ表立つた集りはないわけであるが、毎度の形容乍ら非常時の緊張を忘れぬ程度の小さな會合は相當にあるらしく、時節柄絃歌の伴奏ぬきでこそあれ、その界隈は可なり潤つて居る樣であり、愼しみの簡乍らもの氣分は日と共にピッチが上るらしく観取さる

春ともなれば！
二千六百年記念に豫想さるゝ活氣

今忘年會は大勢右の樣であるが、春ともなれば抑ね切れぬ興亜氣分から、つい戰勝の新春を祝福する事にもなり、而も度外れに渉らぬ限りお互谷め立てもあるまひ處から、光輝ある皇紀二千六百年を記念する事變下的の商面目な祝宴が在所に行はれる事になり、れも銃後のたしなみとして年末の會合を留保した炭礦、會社工場其他各種個人團体等にして年末年始の會合に之を加味强調する向が少からぬる處から來ん春は擧つて緊張のなかにも一種非常時的の活氣を漂はすであらうとのことである

石炭販賣組合結成

平、好間、內郷、湯本の石炭問屋並に仲買人七十餘名がこんど石城石炭販賣同業組合(假稱)を創設、明十日午後一時から平署會議室に創立總會を開いて左記役員を選任、その小賣値を平市內が從來綴、湯本のもので一俵八貫匁入り八十錢乃至一圓のを五十錢に、好間ものは四十五錢に、小名濱方部では九十錢乃至一圓のを七十錢にまた一トン二十二圓だつたものも十六圓六十錢に引下げ販賣することゝなつた

△組合長阿部政藏副組合長磯具信夫△委員日野宗利、野崎作太郎、小口牧重、高久七三郎、長倉寅太、曲山金平、野崎定吉、佐藤徳松、阿部文作

二勇士遺族に
御下賜品傳達

皇后陛下から前線の華と散つた市內杉平一九故豊田勝一伍長母つぎさん及び揆槌小路一故菅野藤雄一等兵妻八重子さんに賜つた御下賜品並に御歌復本の傳達式を今九日午前十時から市會議事堂で擧行した

持品不足も一因
今後の商賣を懸念する
市內の賣出し廢止

貯蓄奬勵によつて購買力を吸收してしまはふと經濟戰强調週間に大きな自粛の壓力を受けてゐる今師走の平市各商店が時節柄恒例の賣り出しをせぬは既報の如くその結果谷の風にはためく賣り出し旗の師走風景も稀かれてゐるが右は勿論當局の趣旨を体せんとする市內商店の時局的教養に出て居る事勿論である一面、極度の品不足に陥つて居る今日無けなしの持品をこの種の賣り出しによつて手離した以後の營業繼續に就て大に將來が懸念さるる節あり、之の內部的理由も一層力强く賣り出し廢止に導いたものの如く彼此この徹底的實行は極めて易々たる摸樣である

貯金奬勵功勞者
地方四氏を大臣表彰

郵便貯金五十億圓突破を記念して大臣より表彰される一般分の地方關係功勞者は既報啇沼市長の外第一小學校長篠山廉、好間村小田吉治の兩氏局關係は內郷四家又一氏で八日仙臺遞信局から發表された

講演を交渉
荻洲中將を迎へ

荻洲中將は十四日午前十時九分着(昨報午後零時四十分は誤り)で來平、公會堂で市內出征遺家族と面接慰問の上同日午後二時十五分平發するので市では目下記念講演を交渉中である

乃木將軍遺品展

乃木精神普及會主催乃木將軍遺品展を十一日から三間日市役所、在郷軍人、愛婦、國婦各分會後援で市公會堂に開くが時間は毎日午前九時から午後八時まで、入場料二十錢、記念として額用の將軍肖像畫を贈る

尙は市役所其他の團体は十一日午後七時から公會堂日本間で乃木精神普及會長綿貫緇文氏を迎へ『時局と乃木將軍』と題する講演會を催すが入場無料

木炭の山千五百餘俵
草野氏市內へ賣り出す

昨報、需要季に際して木炭の地元賣りを勸奬することになつた平署の側面運動に呼應湯本町御所脇寅吉氏に次いで小川郷驛前草野米彌氏もまた自發的に平市內へ千五百俵の木炭を明後十一日から賣り出すこととなりその配給所として方部別に左記十二ヶ所を定めた、大体下層階級をまとしたものでその値は公定價格により一戸一俵、但し出征、入營軍人家族へは五錢安であると、尙は草野氏は小名濱、江名方面へも近く賣り出す筈であると(カッコ內配給所)

△新川町、堤の內(新川町野本龜吉)△才槌小路田町、白銀、土橋(田町狩谷佐市)△大町、仲間鍛冶町、十五丁目(南町加澤謙治)△月見町(同町志賀寛)△古鍛冶町、堂前、紺屋町、(材木町柳內貞則)△長橋、研町新町(長橋町龜岡貞雄)△立町、大工町、五丁目(立町平野弁留藏)△南町(同町岡田勇治)△一、二三、四丁目(三丁目河村ミサヲ)△鍛北(柳町大庭常七)△正月町、鎌田町、爾宜町(立町甜司吉男)△胡摩澤、舊城跡、杉平 八幡小路(杉平坂本富七)

小學兒童珠算競技

平商業學校恒例の小學校珠算競技會は年少兒童とも思はれぬ迄、目にも止らぬ指頭の神技に人々を威服せしめ逐年盛況を呈してゐるがその第七回大會は明十日の日曜を卜し午前九時から開催、參加多數に盛會を豫想されてゐる

投檜（投書歡迎）

子供の時局玩具

◇摸倣心の强い小供の戰爭ごつこで盛んに賣れる鐵カブトやサーベル等の戰爭玩具中踏みつけると相當高い音を出す爆彈なるものは一寸あぶない手遊びである

◇對側の暗がりにさしかゝつたお內儀さんがバーンといふ足もとの爆音に吃驚、悲鳴をあげた儘急ぎの用事らしくそのまゝ行つてしまつたのを直き前の家の中で小供らがクス〳〵笑つてゐた、子供とはいへ一寸考へさせられた

◇戰爭ごつこは前線の親を、兄を思ひながらのほゝゑましい軍國風景だが、これを惡戯に向けるのは斷じて良くない、親御さんの監督と關係方面の御一考を願ひます（一通行人）

興亞の春に贈る
「噫殉國の勇士」出版
市銃後奉公會記念事業

市銃後奉公會では二千六百年記念事業の一つとして既に市葬を濟ませた故古泉、廣瀬兩大尉、金成、高田兩中尉以下二十四勇士の武勳を讃へるためこれら諸勇士の略歷や壯烈な戰死狀況、或は部隊長からの通信、感狀等を登載したものを大体菊版で出版『噫殉國の勇士』と銘打つて新春早々勇士の家庭及び關係方面に贈るべく目下澁田兵事課長の許で編纂中であり同課長も『亡き勇士の遺族の方々からお借りした戰死狀況等を見ると涙新たなるものがあります』と感激してゐる

陣中を聴く
(500)

元氣で滅死奉公を
皆樣が御自愛專一に
四軒町出身　横田尚友君（通信）

久しく御無沙汰致して居りました。さの後皆々樣御變り無く日々を御消光の事と御推察致して居ります。星霜の流れの早さが今更の樣に驚いて居るです。早いものですね、あの春未だ淺き三月首途してよりまた幾つ目かの首途日が訪れつゝあります。

多彩だつた十四年も夢の樣に過ぎ去つて昭和十五年の新春を迎へるのも間近ですね!!意義ある戰時下の正月……

兵事課にお勸めの小泉樣にも宜しくお傳へ下さいませ、小泉樣の御令息にも度々逢ふことが出來ます。今度は〇〇地にて會ふことが出來て實に懐しかつたです。

自分勝手な事のみ書き立てまして失禮致しました。兎に角元氣で滅死奉公を勵みます。御安心下さいませ。

酷寒の砌皆々樣御自愛專一になされて御消光下さいませ。

御無音お詫び迄、亂文にて早々。

有難く拜誦
市內七軒町出身　柳沼源彌君

市長樣はじめ平市民の方々より色々と熱誠なるお便り下され誠に有難く拜見致しました。

長く御無沙汰致しまして甚だお申し譯ありませんでした。

さて小生儀極く壯健にて日夜軍職に參加致して居ります故他事乍ら御安心下さい。

銃後の皆樣には色々とお忙しい折柄小生らの武運長久をお祈り下されますことは遠き中支より感謝に堪へない次第であります。皆々樣の心を思へば小生らも今後も亦一層奮勵致し皆々樣の御懇情の萬分の一に報い以て郷黨の名を辱めざる決心致す覺悟であります。

小生儀も出征より色々と御世話樣になり且つ又御心配下されますことは支那大陸より御禮申上げます。

東洋平和の曉が一日も早く來らん事をお祈りして小生の筆を止めます。

師走に聲は尖る
電話の圓滑を期し
けふ局側と新聞關係懇談

往く人の足も半ば宙に浮く師走もそろ〳〵今日頃になると、わけ知らぬいら立たしさに柔しく話して判る事も遂い聲音に尖りを帶びて來る、電話口に癇癪玉の爆發する昨今こそ其の交換に攜はる人々にとつて一番憂鬱な季節とされてゐるが、因をたゞせば無心の機械がさせる業であつたりその他大半は當務者の過誤怠慢から出たものでなく、判つて見れば加入者側に於ける神經の尖鋭化も自づと解消する筈……に鑑みた平郵便局では此間の正認識を求むる事によつて、年末匆忙季の電話交換に就て捲き起される惡氣流をより少からしむる爲、今九日午後二時から局樓上に於て監督其他電話當務者と在平記者團とが會合、隔意なき懇談にその諒解を深め事變下緊張の歳末に處する資料たらしめた

奉公會寄附者を表彰

市町村の銃後機關は、さきに銃後奉公會と改稱、統合されたが縣では同會へ寄附した篤志者中差當り昨年十二月末迄のものを褒狀條例によつて表彰する旨通牒に接した市では目下各種の報告資料をあつめてゐる

歳末經濟取締强化
廿一日から防犯週間

平署では二十一日から七日間の歳末犯罪豫防週間には時節柄經濟違反事犯をも併せ取締る方針で一般人の自肅自戒を促し各業者の一齊檢索の外關係商會、座談會や印刷物等も配布し各學校まで呼びかけその徹底を期する

大野バス許可

大野村六軒代から同村湯の口に亘る三キロ區間のバス營業は酒井重藤松氏より鐵道省に免許申請中だつたが八日付で許可の指令があつた

玄米作況良好

神谷農試分場調査八日大雪當日の玄米作況は天候適順のため平年に比し早生は八分九厘、中生六分六厘、總平均六分二厘弱の增收で一升當量も總体的に增加を示してゐると

平市慶弔錄

○婚姻　赤井村赤井字諏訪原二川田信平氏(二九)堤の內一二深谷サイさん(二五)
東京市日本區室町四丁目三高樓榮次郎氏(二七)下平窪字八木內三七吉田アサ子さん(二四)

十日【小名濱測候所觀測】
滿潮　前三、二〇　後一、一〇
干潮　前七、五五　後八、四五

十一日
滿潮　前四、〇〇　後一、五〇
干潮　前八、四〇　後九、二五

舊十月三十日
日曜　辛巳　先負　執　房宿
新十二月十日

▲一白　爲すこと捗らずとも後の爲と思ひ勵むべし▲二黑　待の相違し易き日氣を落付けあせらぬが吉▲三碧　誠意事に當らば意外の援助を得て慶ある日▲四綠　平和を第一とし一家同體となりて働くべし▲五黃　階段をのぼるが如く秩序正しく徐々進むべし▲六白　實直に勵めば豫期以上の發展を得らるべし▲七赤　調子に乘り過ぎるときは意外の失敗あるべし▲八白　果斷にして迷ふ事なくば成功の一日となる▲九紫　よくは捨てゝも義は重んずべし田園生活も吉

舊十一月朔日
月曜　壬午　大安　破　心宿
新十二月十一日

▲一白　不滿をおさへ逆らはず今日一日の安きを謀れ▲二黑　幸の滿てる日にて內外共に可ならざるなし▲三碧　理想なれり大いに進出する氣運を發ぶべし▲四綠　不相應の事さへせざれば大いに發展すべし▲五黃　位置はひくゝとも目上の引立てのある日なり▲六白　人事に口を出さず家業を大切に勵むべし▲七赤　勞多くして功少くとも決してうむべからず▲八白　忠實に本分を守れば知らず識らず發展あり▲九紫　いさなひに乘らず家業專一とし勵めば吉日たり

玉屋眼鏡店
平市三

酒トマヅイ
たでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ里
電話三三番

平驛前
旅館　とらや
電話六四八番

桃源境
小瀧は招く
一日の清遊には……どうぞ小瀧へ！
お迎へお送りに輕快な馬車の用意があります
鐵道指定旅館
割烹　小瀧
電話小名濱一〇三

夜間　診療
胃腸性病　專門
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

中等學校
制服……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服
新入荷
並ニ注文既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

重田眼科
眼科一般
眼鏡檢定
平驛前通り　元貯蓄銀行跡
醫師　重田景治
平市田町一番地

男女　車掌募集（三名）
1、年齡十六才ヨリ十九才マデ
2、未經驗者ニテモ可
3、給料其他ハ委細面談
合名會社　平、四倉乘合自働車
平四丁目　電五九四